



春が近づくと気持ちもわくわくするとともに、何か新しいスタートをきって、挑戦してみようという気持ちに駆られますね。年々チャレンジしよう…よりも、現状を少しだけ変えてみようという気持ちの方が先に出ている。なかなか新たなスタートがきりづらくなっています。

スキー教室を迎える年になってしまいました。雪やソリは好きな娘。しかし、スキーというものに、「なんだか怖そう」「転んだら痛そう…」と若干の恐怖心があり、重い足取りで学校に向かっていきました。靴は履けたかどうか、板は履けたかどうか、怪我はしてないだろうか…どこかの隅で気がかりになりながら帰りを待ちましたが、満面の笑みで「楽しかった!」と、帰宅早々に報告をしてくれました。「また行きたい」と、あんなに行き渋っていたスキーを楽しみに変えられて、子どものチャレンジ精神は見習いたいところです。

子どもの好奇心に家族も乗って一緒にチャレンジしてみる、というのも良いきっかけになるかもしれませぬ。

(Y・T)

「紅彩」 [写真提供：蓼科写真クラブ]

第53回 立科町文化展開催

恒例の立科町文化展を、令和7年10月31日から11月2日まで、中央公民館で開催しました。町内の文化団体や個人、小中高の児童生徒の作品を含めて約650点が展示され、蓼科高校茶道部の皆さんによるお抹茶サーブスもあり、大いに盛り上がりました。どの作品も力作ぞろいので、来場した皆さんからは感激の声が聞こえ、目を凝らしてご覧になる人もいました。次回も多くの方のご来場・出展をお待ちしております。



第10回 ふらばーるバレー大会開催！

2月15日(日)立科町体育センターにおいて第10回ふらばーるバレー大会が開催され、20チームと多くの皆さんに参加いただきました。

開会式では、茂田井チームの代表者による力強い選手宣誓がありました。競技では、白熱した試合が繰り広げられ、大きな声援に選手の皆さんも素晴らしい動きを見せてくれました。参加チーム・大会結果は掲載のとおりです。選手の皆さん、お疲れさまでした！

大会結果

- 優勝 塩沢連合A(塩沢連合)
- 準優勝 町(町分館)
- 第3位 町レディース(町分館)
- 第3位 赤沢少年少女隊(赤沢連合)



優勝

塩沢連合A(塩沢連合)

準優勝

町(町分館)



3位

町レディース(町分館)

3位

赤沢少年少女隊(赤沢連合)



No.	チーム名	分館名
1	町	町
2	町レディース	
3	N方・青年部	野方
4	ATAGON	
5	レッドムーン	
6	赤沢オールスターズ	赤沢連合
7	赤沢少年少女隊	
8	マコモのユカイな仲間たち	真蒲
9	牛鹿・柳沢連合 A	牛鹿・柳沢連合
10	モーモーバンビ	
11	外倉	外倉
12	西塩沢火消し隊	
13	塩沢連合 A	塩沢連合
14	塩沢連合 B	
15	ザワフジ酒造	藤沢連合
16	FJSW 特攻集団	
17	M・N・A	
18	H・Y・D	桐原連合
19	K-Ⅲ	
20	茂田井	茂田井



第2回 立科町公民館まつり開催

立科町公民館まつりが3月1日(日)に立科町老人福祉センターで行われ、18のグループが出演し、日頃の活動の成果を発表しました。開演前に主催者を代表して実行委員長の宮下さん(陽順会)よりあいさつがありました。出演者は演目により、それぞれ工夫を凝らした衣装を身にまとい、独自の演出で、とても華やかでした。また、今回は友好都市の神奈川県愛川町から「愛川町吟詠連盟」の皆さんにも出演いただき、大変盛り上がる発表会となりました。

メンバーを募集中のグループもありますので、ご興味のある方は中央公民館(0267-18818417)までご連絡ください。

グループ名	ジャンル
立科中学校吹奏楽部	吹奏楽
オズダンスサークル	社交ダンス
ふれ愛フレンズ	合唱
ときめき舞踊会	舞踊
立科コーラス	合唱
童謡唱歌をうたう会やまびこ	合唱
青春会	ハーモニカ・歌とギター
らくらく音楽倶楽部	キーボードアンサンブル
うたの会「華」	合唱
ときわ会	銭太鼓
立科民謡クラブ	民謡
愛川町吟詠連盟	詩吟
立科小学校合唱クラブ	合唱
立科太極拳の会	太極拳
立科小学校管楽器クラブ	吹奏楽
演劇講座 みんな輪になれ	演劇
陽順会	三味線合奏
御泉水太鼓ジュニアチーム	和太鼓

【出演順】





ブラリ中山道歴史散歩

地元の芦田宿をはなれ、中山道の宿場町を歩いて巡る「ブラリ中山道歴史散歩」を11月8日(土)に開催しました。4回目となる今回は、番外編として北国街道小諸宿と懐古園を見学しました。現地ガイドの案内のもと、寺院や城址、町屋、脇本陣など、主に戦国時代から江戸時代にかけてのルーツについて解説がありました。参加者からは「何度も来ているのに知らないことばかりだった」との感想をいただきました。天候にも恵まれ、懐古園の紅葉も見ごろであり、素敵な歴史散歩の時間となりました。



クリスマスリースづくり教室

12月14日(日)に中央公民館大会議室において、木の実などの自然物を使った「クリスマスリースづくり教室」を開催しました。4年目となる今回のテーマは「ホワイトクリスマス」です。最後に白スプレーを吹きかけるのは同じですが、選ぶ材料と配置によって全く違う作品になります。参加者の皆さんは自由な発想でリースづくりに取り組み、どの作品も個性豊かで工夫を凝らしたものとなりました。



吉見 友貴 ピアノコンサートin立科町

町民の皆さんにもお馴染みとなりました、サントミュージコンコンサートを12月15日(月)に中央公民館大会議室で開催しました。今回は、吉見友貴さんによるピアノのリサイタルで、普段あまり聴くことのできないプロの生演奏は大変迫力があり、超絶テクニックに終始圧倒されました。MCでは演奏曲について解説いただく場面もあり、素晴らしいコンサートとなりました。



竹あかりワークショップ

芦田城址環境整備で切った竹を使った「竹あかりワークショップ」を1月25日(日)に中央公民館で開催しました。参加者の皆さんは、好きな模様の台紙を選んで竹に貼り付け、ドリルを使って穴をあけていきました。最初はドリルの扱いに苦戦していましたが、次第に慣れてきた様子で、どの作品も素晴らしいものになりました。最後には、全員の作った作品を並べ、互いに鑑賞しあいました。



冬の映画鑑賞会「キネマの神様」

2月21日(土)に老人福祉センター集会室において、山田洋次監督、沢田研二・菅田将暉主演の「キネマの神様」を上映しました。原田マハさんの小説を映画化した作品で、映画を愛する男を主人公に、愛や友情、家族など様々なドラマが描かれています。上映後のアンケートでは「映画ってやっぱりいいなと思った」「とてもほっこりする作品でした」など感想をいただきました。



図書室利用案内

- お一人5冊まで 2週間借りられます
- 開室時間**
 - 月曜日～金曜日 午前10時～午後6時
 - 土曜日 午前10時～午後5時
 - 日曜・祝日 午後1時～午後5時
- 休室日**
 - 毎月最終週の月曜日（その日が祝日の場合はその翌日）
 - 5月3日（憲法記念日） 5月4日（みどりの日）
 - 年末年始
 - 蔵書点検、館内清掃など特別に決めた日

新着本の紹介



「最後の皇帝と謎解きを」
犬丸 幸平(著) 宝島社(出版)

1920年、中国。紫禁城で起こる密室殺人事件に、廃帝・溥儀と日本人絵師が挑む！
身分も国も超えた人々の友情×歴史ミステリー。

「じんせいはいがみついてなんぼです」
木坂 涼(詩) 長谷川 義史(絵) フレーベル館(出版)

動物たちの心の声やつぶやきに、思わずくすつしたり、ハツつしたり、じーんとしたり…。詩人・木坂涼のじわじわくる、動物の詩37編。



「農とむらに生きた証し」長野県生活改善活動の広がり
NPO法人農と人とくらし研究センター(編) 信濃毎日出版(出版)

戦後まもなく、農村の衣食住の改善・向上を目的に女性たちに懸命に働きかけた「生活改良普及員（生改さん）」の女性たちと、ともに活動した農家女性たちが歩みをつづった証言集。

「ずっと工事中！沢田マンション」
青山 邦彦(著) 加賀谷 哲朗(監修) 学芸出版社(出版)

田んぼや釣りぼり池、迷路のような階段、屋上クレーン…。なんでも手づくりしてしまう夫婦が、巨大マンションづくりにふみだし…。変わりつづけるマンションの建設と改造のプロセスを描く、ウソのようなホントの話。



おでかけ絵本室のおしらせ

～たたみの部屋で ゆったり絵本をご覧ください～

期間 4月22日(水)～5月14日(木)
〔時間は図書室の開室時間と同じ〕

場所 中央公民館創作室

図書室の絵本を創作室に移動し、テーマ別や作家別に並べます。表紙が見えるように並べているので絵を見て選べ、畳の上で絵本を広げられます。
絵本の時間をゆっくり、お楽しみください。



デジとしょ信州（市町村と県による電子図書館）のお申し込みは、
図書室カウンターまでどうぞ！
公民館図書室では、立科町にお住まいの方の申請を受け付けています

デジとしょ信州



●蔵書検索はこちらから

スマートフォン



<https://opac.libcloud.jp/tateshina/>

携帯電話



<https://opac.libcloud.jp/tateshina/wopc/pc/mSrv?dsp=TP>

パソコンは、立科町公式ホームページ
トップのバナーをクリック！

分館紹介

古町分館

真蒲分館

古町分館の紹介

古町分館長 齊藤 政晴

古町分館が誇る最大の行事は、毎年9月に行われる蓼科神社の秋祭りです。今回ご紹介する写真は、この祭りで奉納される「三頭獅子（みかしらしし）」



を、地域の子供たちが勇壮に舞っている様子です。約300年にわたり受け継がれてきたこの神楽は、稀少な漆張子（うるしはりこ）の獅子頭と、雅やかなお囃子（はやし）が特徴です。囃子に合わせて舞を演じ、五穀豊穡や無病息災を願います。

現在、この伝統を支えているのは、熱心に指導にあたる若衆や保存会、そしてその想いを受け継ぎ、厳しい稽古に励む子供たちです。大人たちの背中を見て育ち、真剣な眼差しで舞う子供たちの姿は、まさに地域の宝そのものです。

世代を超えて受け継がれ育まれていくこの伝統芸能を、ふるさとを愛する想いとともに、これからも大切に未来へと繋いでいきます。

真蒲分館の紹介

真蒲分館長 中山 正道

真蒲（まこも）分館は、蓼科高校の西側に位置する山部連合（山部区）5地域の中の分館です。分館の年間行事は、一月一日元旦の真蒲新年祝賀会から始まります。成人の日に行う「どんど焼き」では、焼いたまゆ玉を頂き、その年の健康を願います。二月には、分館長、体育部長を中心に実施する「ふらばーるバレー大会」へ参加し、一昨年度は3位の成績を収めました。三月には、真蒲自治会定



期総会を開催します。四月は、灯笼貼り、灯笼飾り（60個）、幟（のぼり）立て、灯笼回収、幟取込など、春祭りの時期となります。五月には、毎年多数参加の「焼肉大会」を開催し、六月には、「立科町民ゴルフ大会」への参加があります。こちらも、一昨年は真蒲より優勝者が出ました。八月には「少年スポーツ大会」「分館対抗球技大会」への参加、九月には、秋祭りの灯笼貼り、灯笼飾り、幟立て、灯笼回収、幟取込を行い、分館人権学習会も開催します。

年間を通してすべての行事の連絡には「特にお子様には、故郷の良き思い出になるよう分館行事に積極的にご参加してほしい」とお願いし、参加していただいています。

今後も、真蒲自治会の皆様のお力をかりて、真蒲分館活動がさらに活発になるよう努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

立科は史跡や文化財が多い町なのです！

たてしな歴史研究会 須藤 建矢

2005年に発足した「たてしな歴史研究会」は今年21年目を迎えました。設立当初は30人強でしたが、今も残るメンバーは僅かに1人。歳月の経過で入れ替わりが進み、活動も変わってきました。現在は2か月に1度の定例会で町内／町外の史跡を訪ね、昔を知る語り部の話に耳を傾けます。

蓼科山を源流とする堰の歴史、なぜリンゴの生産が盛んになったのか、江戸時代の芦田宿って？などなど。

一方、毎年2月には町民をお招きして公開講座を開催します。毎回100人以上の方が集まります。

今年は大河ドラマ「べらぼう」も手掛けられた、時代考証家の山田順子さんをお招きし、「立科町と江戸時代」をテーマにお話をいただきました。

こうした活動を行うメンバーは30代から80代までの17人。

史跡や文化財が忘れられていくと危機感を持つメンバーがいます。町のことを仲間と楽しく学びたいというメンバーがいます。また、最近「歴史はあまり得意ではないけど」というメンバーも増えてきました。

我々は学術的な歴史研究を行う会ではありません。この町に、どんな人がいた？何があった？座学もしますが、現地に赴き、見聞を広めることが主な活動です。

一緒に楽しんでみませんか？



令和8年度立科町二十歳の式典実行委員募集！

中央公民館では、令和8年8月15日(日)に開催を予定している二十歳の式典の実行委員を募集しています。実行委員の方には主にアトラクションの企画・運営を担当していただきます。

対象は令和8年度に二十歳を迎える方々で、立科町二十歳の式典の出席対象者です。

二十歳を迎える皆様のアイデアを活かし、式典と一緒に盛り上げましょう。お友達とお誘い合わせての参加でも構いませんので、少しでも興味のある方は、ぜひご連絡をお願いします。積極的なご応募をお待ちしております。

- 対象者 平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの方
- 募集人数 5名程度
- 募集締切 令和8年5月22日(金)
- 応募先 立科町中央公民館 (0267-88-8417)

編集後記

日差しに温もりを感じ、雪解け水が春の訪れを告げる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、本号で「館報立科」は記念すべき第80号を迎えました。年2回の発行を重ね、こうして大きな節目を迎えられましたのも、ひとえに地域の皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。

編集作業を通して、皆様の生き生きとした表情や活動の様子を拝見し、改めて地域で「集い」「学び」ことの楽しさや、人と人とのつながりの大切さを実感しております。令和7年度も多くの事業にご参加いただき、誠にありがとうございました。至らぬ点もあつたかと思いますが、皆様に支えられ無事に年度末を迎えることができました。

来る令和8年度も、公民館が皆様にとって心地よい交流の場となり、笑顔の輪がさらに広がるよう努めてまいります。今後とも、館報並びに公民館活動をどうぞよろしくお願いたします。

(K・T)